



ReduHeat®

「遮熱」に特化した塗布剤
果菜・花卉類の高温対策に

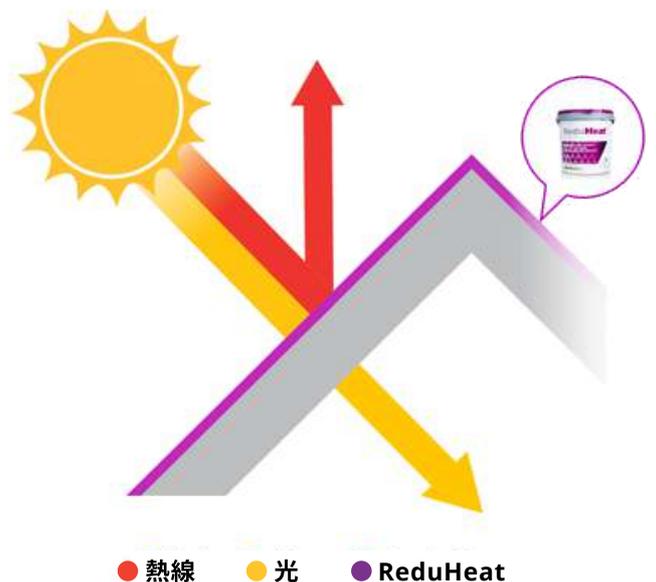


春・夏の温度を下げたい・・・
でも過度な遮光はしたくない
そんなお悩みはありませんか？



ReduHeat (レディヒート)

ハウス屋根に吹き付けて使用する塗布剤です。春や夏の高温からハウス内の作物を守り、生育を改善させます。「光合成に有効な光」を多く透過して「熱線(赤外線)」を多く反射します。春や夏の過酷な環境を、作物にとって成長しやすい環境に変える手助けをします。



高い光透過率を活かして生産性UP！

ReduHeatは光要求度の高い作物での使用が適しています。
果菜類（トマト・パプリカ・キュウリ）や花卉類（バラ等）での使用
がおすすめです。



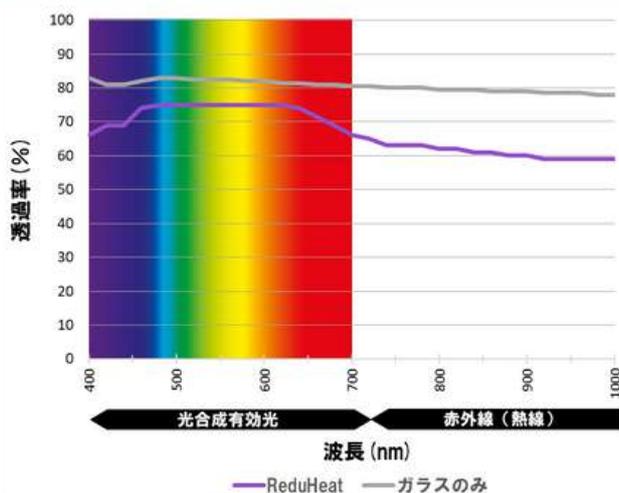
ReduHeatの特徴

特徴① 「熱線」の反射に特化

ReduHeatは熱線を多く反射する塗布剤です。植物が光合成に必要な光は多く透過します。通常、ハウス温度を下げるために遮光を行うと、本来必要な「光」についても遮られてしまいます。ReduHeatは、ハウス内の光の量を保ちながら、ハウス内の温度を下げるができます。

特徴② 雨に強く、長期間持続

ReduHeatは雨に強く、長期間にわたって効果を発揮します。使用濃度や降雨量によって変動しますが、3~5か月にわたって高温から作物を守ります。梅雨やゲリラ豪雨の心配をすることなく、幅広い期間にわたってご使用いただくことができます。



ご使用方法

機材の準備

01

希釈用タンク、動力噴霧器、水を準備します。



新品のフィルムに吹き付けを行う場合、フィルムが塗布液を弾いてしまい被膜が綺麗に形成されない場合があります。



作業時や塗布後の乾燥中に降雨が予想される状況での塗布作業はお控えください。（塗布後半日程度で乾燥します）

02

希釈・攪拌

ReduHeatの使用数量を決定し、下記の表の希釈倍率に従って水で希釈後、念入りに攪拌を行ってください。

※レディヒートは1缶あたり約13Lです。

2.5缶/10aが
おすすめです



使用缶数 (10aあたり)	遮光率	遮熱率	希釈倍率	水 (1缶あたり)
3.5缶/10a	16%	30%	1 : 3	40L
2.5缶/10a	13%	24%	1 : 4	52L
2.0缶/10a	10%	20%	1 : 5	65L



攪拌が不十分な場合タンクの底にReduHeatが沈殿し詰まり等の原因になります。攪拌は入念に行ってください。

03

散布

動力噴霧器を使用して、ハウスの屋根にReduHeatを吹き付けます。

04

機器の洗浄

塗布作業後は動力噴霧機・ホース内の洗浄を行うために、50～100Lの水を出し続けてください。

 / 誠和アグリカルチャ

動画で散布の手順を解説中

誠和アグリカルチャ公式YouTubeチャンネルにて

塗布剤の使い方について紹介しております。右記QRコードよりご覧ください。

